

AAAソブリン・ファンド（愛称: トリプルアクセル）

月次レポート 2010年2月

2010年2月末現在

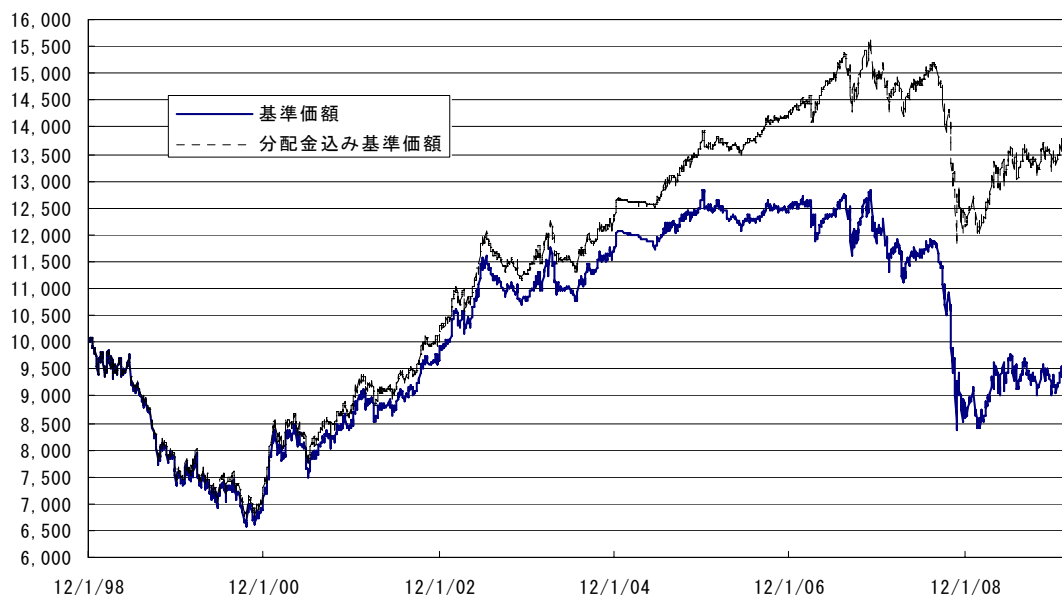
設定・運用は

フォルティス・アセットマネジメント

2010年2月の運用状況（2月末現在）

月末基準価額	純資産総額	債券組入れ比率
8,740円	14億9,926万円	94.5%
分配金込み基準価額	前月末比	設定日
13,175円	-132円	1998年12月1日

設定来の基準価額の推移



（注）当ファンドは2005年2月に半年決算から毎月決算型に変更しました。第23期より55円の分配を行ってきましたが、第73期（2月16日）は100円の分配を行いました。設定来の累計分配金額は4,435円です。

巻末の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

2月の分配金込み基準価額の要因別変動

	債券要因	為替要因	合計	設定解約要因	信託報酬要因
オーストラリア	15	-21	-6		
ドイツ	10	-51	-41		
イギリス	10	-93	-83		
米国	6	-4	2		
カナダ	1	3	4		
計	42	-166	-124	-0.3	-8

(単位：円、設定解約要因以外は円未満四捨五入)

組入れ債券の内訳

当ファンドは最高格付けAAAを有する世界主要国の国債、政府機関債を投資対象とし、現在オーストラリア、ドイツ、イギリス、米国、カナダの国債に投資しています。2月26日現在、これらの国債の組入れ比率は94.5%です。

発行国	銘柄名称	組入比率 (%)	利率 (%)	償還日	残存期間 (年)	最終利回り (%)	直利 (%)	デュレーション (年)	格付け (S&P)
オーストラリア	6.5% AUSTRALIAN GOVT.	37.8	6.5	2013/5/15	3.22	4.84	6.20	2.91	AAA
ドイツ	5% DEUTSCHLAND REP	18.3	5.0	2012/1/4	1.85	0.89	4.65	1.81	AAA
イギリス	5% UK TREASURY	18.1	5.0	2012/3/7	2.03	1.19	4.65	1.91	AAA
米国	1.875% US TREASURY	13.7	1.875	2014/2/28	4.01	1.87	1.87	3.84	AAA
カナダ	6% CANADA-GOV'T	6.6	6.0	2011/6/1	1.26	0.81	5.63	1.22	AAA

○組入れ債券のポートフォリオ特性値

平均最終利回り2.67% 平均直利4.93% 平均格付AAA 平均残存年数2.72年 平均デュレーション2.52年

分配対象収益額

	第71期 (2009年12月16日)	第72期 (2010年1月18日)	第73期 (2010年2月16日)
配当等収益	34円	43円	33円
配当等収益 (経費控除後)	25円	40円	24円
有価証券売買益	▲161円	133円	▲316円
有価証券売買益 (経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円
前期からの繰越分配可能額	2,211円	2,182円	2,123円
分配準備積立金	0円	0円	0円
追加信託差損益金 (配当等相当額)	2,211円	2,182円	2,123円
決算前 分配可能原資	2,236円	2,222円	2,147円
収益分配金 (1万口当り・課税前)	▲55円	▲100円	▲100円
決算後 繰越分配可能原資	2,181円	2,122円	2,047円

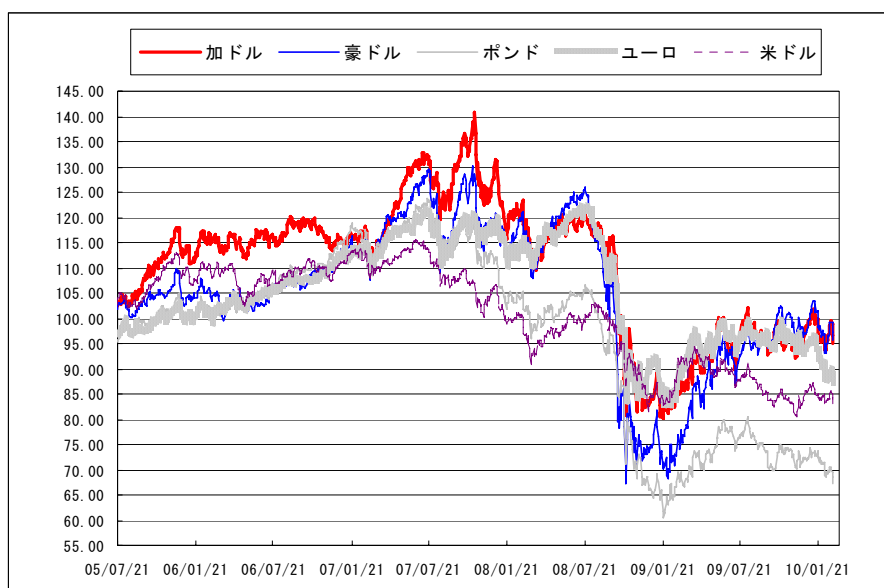
(注) 分配可能原資は (1) 経費控除後の配当等収益 (2) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買益 (3) 前期からの繰越分配可能額の合計の範囲内です。

巻末の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

2月の市場動向と今後の見通し

- 加ドルは83.98円から84.29円に+0.4%と上昇し、加10年国債利回りは3.33%から3.40%に7ベースポイント上昇（債券価格は下落）しました。ポルトガルの短期国債の入札が不調に終わったことをきっかけに欧州株式市場は急落し、また中国人民銀行が預金準備率の再引き上げを12日に発表したことを嫌気してニューヨークのWTI原油相場は1バレル71ドル台前半に下落しました。しかし米国景気指標の予想を上回る改善を好感して回復に向かい、加ドルも上昇しましたが、2月の米消費者信頼感指数が昨年4月以来の低水準に落ち込んだことなどを嫌気して反落しました。
- 米ドルは89.77円から89.43円に-0.4%と下落し、米10年国債利回りは3.63%と前月末と同じでした。バーナンキ米FRB議長が10日に開催された下院金融委員会の公聴会で公定歩合を「遠くない将来」に引き上げる可能性を示唆したためドルは全面高になりました。17日に公開された連邦公開市場委員会（FOMC、1月26日～27日開催）の議事録によればFOMC出席者はFRBの資産と金融機関の超過準備を「時間をかけて顕著に」圧縮することに全会一致で合意しました。FRBは18日に公定歩合を0.25%引き上げ、異例の金融緩和の段階的な解除に向けて一步を踏み出したことから米ドルは92円台に大幅上昇しました。しかし1月の消費者物価コア指数は1982年12月以来の前月比マイナスになり、また米消費者信頼感指数の低下、ギリシャの格下げ懸念などが相次ぎ89円台前半に反落しました。
- 豪ドルは79.97円から79.48円に-0.6%と下落し、豪10年国債利回りは5.46%から5.49%に3ベースポイント上昇しました。1月の雇用者数は前月比5万2700人増加し、ここ3年余りで最大の増加になりました。オーストラリア準備銀行は16日に公開した金融政策決定会合の議事録で、景気が改善すれば利上げを再開する算が大きいとの認識が示しました。これによって豪ドルは続伸しましたが、米FRBの出口戦略に対する警戒感が強まり反落しました。さらにギリシャの格下げ懸念からリスクの高い資産のポジションを解消する動きが活発化し、豪ドル売りが加速しました。
- ユーロは124.99円から121.21円に-3.0%と下落し、独10年国債利回りは3.20%から3.11%に9ベースポイント低下しました。ギリシャは2日、公務員の賃金凍結、社会保障費削減、燃料税の引き上げなどによる今後3年間の財政再建策を発表しましたが、ポルトガルの短期国債入札が不調に終わったことから信用不安が一段と高まりました。欧州連合（EU）の財務相会合は16日、ギリシャの財政再建計画を条件付で承認し、またギリシャのパパコンスタンティヌス財務相が財務相会合後に「救済を受ける必要は実際のところない」と語ったため財政危機への懸念はひとまず後退しました。しかしギリシャ全土で主要労組によるゼネストが行われ、加えて米格付け会社スタンダード・アンド・プアーズとムーディーズが早ければ3月にもギリシャを格下げする可能性がある」と指摘したことを嫌気してユーロは対円で大幅続落しました。
- ポンドは前月末の144.75円から136.42円に-5.8%と下落し、英10年国債利回りは3.94%から4.03%に9ベースポイント上昇しました。財政不安がポルトガル、スペインに波及し、ポンドも急落しました。英中銀イングランド銀行は4日の金融政策委員会で2000億ポンド規模の債券買い取り計画をいったん終了することを決定しましたが、キング総裁は10日「必要なら債券購入を再開する」と述べ、また1月の財政収支が同月としては統計開始の1993年以来初めて赤字になったことを受けてポンドは大幅続落しました。

豪ドル、加ドル、ユーロ、ポンド、米ドルの対円相場（2010年2月25日現在、ニューヨーク市場）



(注) 2005年3月31日を100として指数化しています。

巻末の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

ファンドの主なリスク

当ファンドは、主として世界主要国の投資適格債に投資するため、組入れられた有価証券等の値動きや為替相場の変化等により、基準価額は変動します。したがって、投資元本は保証されているものではありません。

①価格変動リスク

有価証券等の価格は政治・経済情勢などの影響を受けて大きく変動します。ファンドにおいては、債券および株式の価格の下落があった場合に、損失が生じるリスクがあります。

②金利リスク

一般に債券の価格は金利が低下した場合には上昇する傾向がありますが、金利が上昇した場合には下落する傾向があります。債券の価格が下落した場合には、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

③為替変動リスク

円が世界主要国通貨に対して強い動きを示す場合(円高)には基準価額にマイナス要因になり、逆に弱い動きを示す場合(円安)にはプラス要因になります。為替レートは一般に、外国為替市場の需要、世界各国への投資メリットの差異、金利の変動その他様々な国際的要因により決定されます。また為替レートは各国政府・中央銀行による介入、通貨管理その他の政策によっても変動する可能性があります。

④流動性リスク

流動性リスクとは、ファンドにとって最適な時期、価格で取引が執行できなかった場合に損失を生じたり、値上がり益を逸することです。市場規模や取引量が少ないために組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売買できない場合、不測の損失を被るリスクがあります。

⑤信用リスク

一般に、ファンドが投資している有価証券等や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念がある場合に、当該有価証券等や金融商品の価格が下落したり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。その場合には、ファンドにも重大な損失が生じ、基準価額が下落する要因となります。

⑥カントリー・リスク

当ファンドは、海外の有価証券等に投資しますが、投資する有価証券等の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの基準価額が下落する要因となる可能性があります。

当ファンドの諸費用等について

お申込時や保有期間中には以下の諸費用をご投資家の皆様にご負担いただきます。

①ご投資家の皆様にご負担いただく費用

お申込時:

お申込手数料 委託会社の指定する販売会社が3.15%(税抜3%)を上限としてそれぞれ別に定めることとします。(お取扱いは販売会社により異なります。販売会社にお問い合わせください。)

ご換金(解約)時:

信託財産留保額・解約手数料 ありません。

②保有期間中にファンドで間接的にご負担いただく費用

信託報酬 信託財産の純資産総額に対して年率1.1025%(税抜1.05%)

その他の費用 信託事務の処理に要する諸費用、信託財産の財務諸表の監査に要する費用、有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書の作成・印刷費用ならびに当該費用に係る消費税相当額は受益者の負担とし、信託財産中から差し引かれます。この諸費用は、信託財産の計算期間を通じて毎日計上されます。諸費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額を示すことはできません。

直接および間接的にご負担いただく費用の合計額は、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

課税関係 個人の投資家の場合、原則として、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の差益に対して課税されます。

※税法が改正された場合には内容が変更になることがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「費用・税金」をご覧ください。

巻末の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

お申込みメモ

信託期間	信託設定日(1998年12月1日)から無期限です。
決算日	原則として毎月16日。ただし、該当日が休業日のときは該当日以降の最初の営業日を決算日とします。
収益分配方針	経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます)等の全額の範囲内で、基準価額の水準などを勘案して分配します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。分配金は税金を差し引いた後、分配金を受け取るコースと自動的に無手数料で再投資されるコースがあります。(お取扱いは販売会社により異なります。販売会社にお問合せください。)
お申込み日	原則として販売会社の営業日の午後3時(半休日は午前11時)までに買付けのお申込みができます。ただし、フランクフルトにおける証券取引所休業日はお申し込みできません。
お申込み単位	分配金受取コース 1万口以上1万口単位 1万円以上1円単位 分配金再投資コース 1万円以上1円単位 (お取扱いは販売会社により異なります。販売会社にお問合せください。)
途中換金	フランクフルトにおける証券取引所休業日を除く毎営業日の午後3時(半休日は午前11時)までにお申込みの販売会社にてご換金のお申込みができます。

販売会社情報

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会		
			日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
藍澤証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○	
イーバンク銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第609号	○		○
株式会社エコ・プランニング証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第39号	○		
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第7号	○		
全国信用協同組合連合会	登録金融機関	関東財務局長(登金)第300号			
日興コーディアル証券株式会社 (投信スーパーセンター専用)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
野村信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第29号	○	○	○
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		
三井生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第122号	○		
ばんせい山丸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第148号	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○

巻末の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社: フォルティス・アセットマネジメント株式会社
(信託財産の運用の指図、投資信託説明書(目論見書)及び運用報告書の作成等を行います。)
金融商品取引業者、関東財務局長(金商)第327号
加入協会/社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社
(信託財産の保管、管理業務を行います。)

販売会社: 5ページの販売会社情報をご参照ください。また、フォルティス・アセットマネジメントのホームページ(www.fortis-am.com)にて販売会社をご覧になれます。
(募集の取扱い、一部解約の請求の受付、償還金及び一部解約金の支払等を行います。)

投資家の皆様へ

お申込みの際は販売会社が「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡ししますので、必ずご覧ください。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、フォルティス・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当資料に記載されている内容、数値、図表、意見等は作成時点のものであり今後予告なく変更することがあります。
- 当資料に記載の内容は、将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資家の皆様に帰属します。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- 証券会社を通じてご購入いただいていない投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 取得のお申込みの際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。